

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
応用栄養学特論	1単位 15時間(8コマ) 講義科目	博士前期1年次 後期開講	☑・不可
科目責任者	大野 智子		
担当者	大野 智子、齋藤 長徳、鹿内 彩子、清水 亮		
1. 科目のねらい・目標 生活習慣病の一次予防を主要テーマとした食生活・栄養に関して、医療・介護・予防等に必要な栄養実践に関わる専門知識や最新情報を得る。具体的には、健康な乳幼児から高齢者を対象としたライフステージ別、介護を必要とする高齢者、種々な疾病に関して、対象者の問題点を的確に捉え、解決に向けて必要な考え方やスキルを修得する。			
2. 授業計画・内容 第1回 思春期の健康と栄養に関する現状について講義する (担当：大野) 第2回 思春期の栄養ケアのあり方について講義する (担当：大野) 第3回 要介護高齢者の栄養ケアに関する現状を制度とともに講義する (担当：齋藤) 第4回 要介護高齢者の栄養ケアプロセスを講義する (担当：齋藤) 第5回 学童期の健康と栄養に関する問題の現状について講義する (担当：鹿内) 第6回 学童期の栄養と食生活に関する課題と取り組みについて講義する (担当：鹿内) 第7回 生活習慣病と食事療法に関する現状について講義する (担当：清水) 第8回 生活習慣病の食事療法に関する課題について講義する (担当：清水)			
3. 教科書、参考書 各授業において、資料を配布する。			
4. 成績評価方法 授業への参加度 30%、レポート 70%により評価する。			
5. 受講要件 なし。			
6. 社会人学生に対する配慮 仕事の都合で対面での出席が難しい場合は事前申し出により、第1～6回はオンライン講義に対応する。なお、第7～8回は完全オンライン講義である。			
7. その他			